

食肉の生産と消費について



農林水産省畜産局食肉鶏卵課長
猪口 隼人

平素より畜産・食肉行政の推進に御理解・御協力を賜り、心より御礼申し上げます。本稿では、食肉の生産及び消費動向と、輸出入の状況について御紹介いたします。

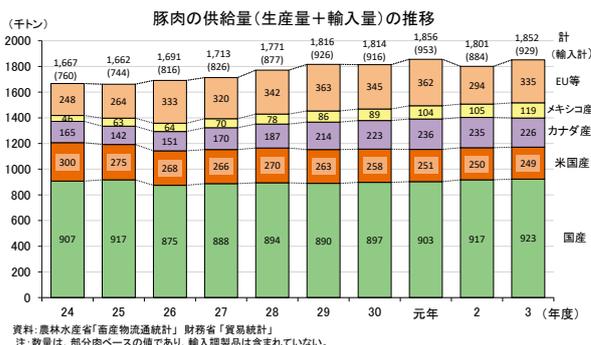
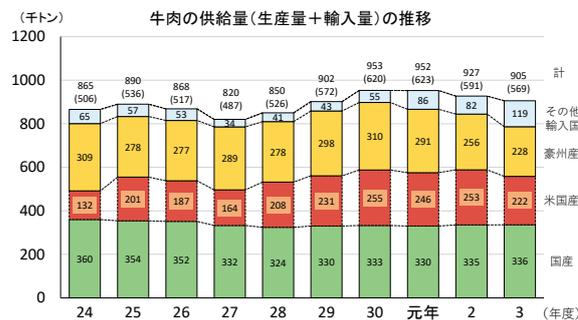
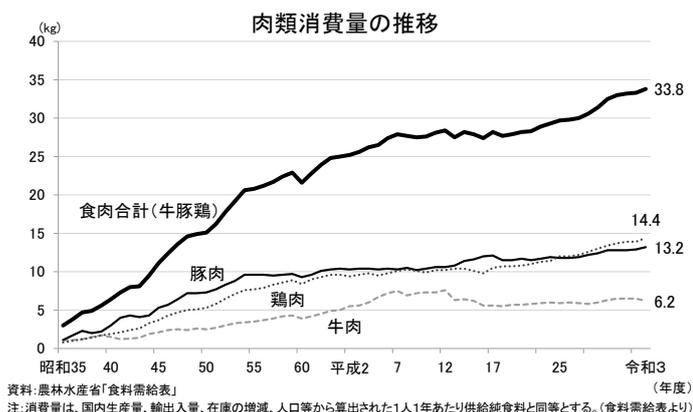
1. 食肉の消費動向について

国民の食生活の変化により、動物性タンパク質摂取量が増加傾向で推移してきた中で、近年の健康志向により赤身肉や鶏肉の消費量が増えていることもあり、牛肉、豚肉、鶏肉合計の一人当たりの消費量は、令和3年度に過去最高の33.8kg/年となりました。畜種別に見ると、牛肉は6.2kg/年と近年は横ばいで推移していますが、鶏肉が14.4kg/年、豚肉が13.2kg/年と過去最高を記録しています。

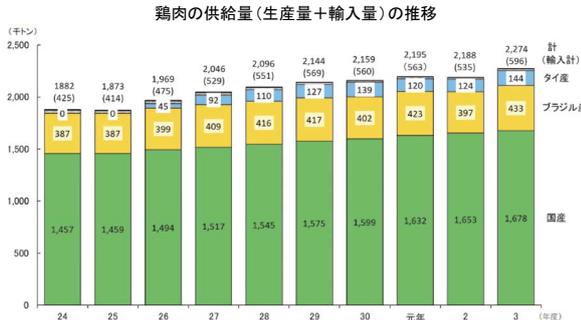
また、家計消費量についても、外食や中食での消費割合が多い牛肉は横ばいであるものの、豚肉、鶏肉は増加しています。

2. 食肉の生産及び輸入量の推移について

食肉の供給量は、旺盛な需要に伴い、近年増加傾向で推移しています。国内生産量については、畜産クラスター事業等により生産基盤が強化され、増加傾向で推移しています。輸入量については、令和2年度では新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外食需要の減少等により前年度に比べ減少し



ましたが、その後、豚肉及び鶏肉の輸入量は回復傾向で推移しています。



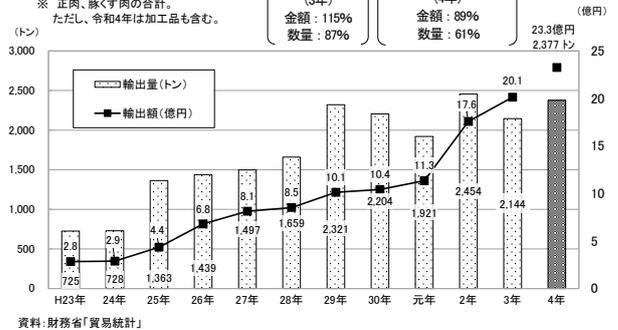
資料:農林水産省「食料供給表」ALIC「供給表」財務省「貿易統計」
 注1:国内生産量は、骨付き肉ベースの値、輸入量は実数(調製品は含まれていない)。
 注2:鶏肉は平成12~20は年度、平成21以降は年次。
 注3:R3年は概算値

(2) 豚肉

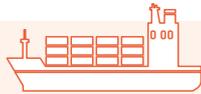
令和4年は、香港における外食規制の影響や、輸入豚肉価格の高騰により国内仕向けの需要が高まったこと等により、前年比89%の23億円となりました。

豚肉の輸出実績

※ 正肉、豚くず肉の合計。
 ただし、令和4年は加工品も含む。



3.



食肉の輸出について

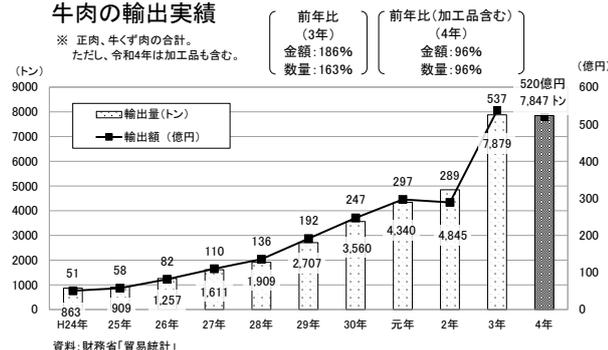
農林水産物・食品の輸出については、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円の目標(うち牛肉3600億円、豚肉60億円、鶏肉100億円)を掲げ、政府を挙げて輸出拡大に取り組んでいます。牛肉、豚肉、鶏肉は重点品目に位置付けられ、2022年の畜産物の輸出実績は968億円で、2012年以降連続して増加しています。うち牛肉が最大の520億円を占めています。

(1) 牛肉

令和4年は、台湾、EUなどが伸びた一方、米国における物価高及び低関税枠超過後の関税引上げによる消費減退の影響等によって、前年比96%の520億円となりました。

牛肉の輸出実績

※ 正肉、牛くず肉の合計。
 ただし、令和4年は加工品も含む。

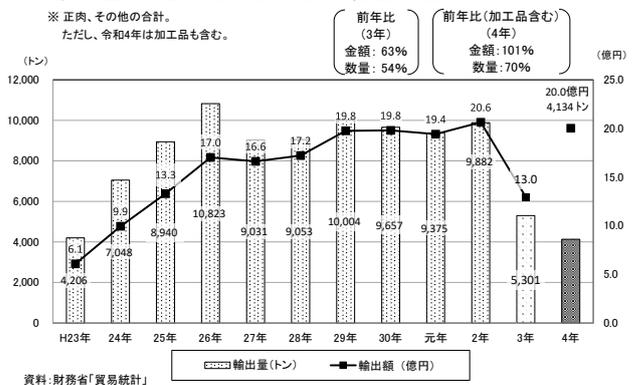


(3) 鶏肉

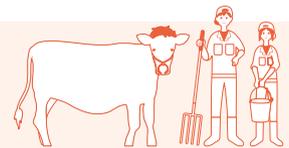
令和4年は鳥インフルエンザ発生による輸出停止及び輸出先での需要減退等の影響により、特に手羽、鶏足の輸出量は減少したものの、鶏肉加工品の輸出が増加したことから、輸出額は20億円となりました。

鶏肉(正肉・加工品・その他)の輸出実績

※ 正肉、その他の合計。
 ただし、令和4年は加工品も含む。



4. 終わりに



今後も、国内生産、消費及び輸出入の動向を注視しながら、需要に見合った生産を促しつつ、食肉を安定供給できるよう、各種施策を推進してまいります。